



PC 300 GL

SA88-6633-00

初期導入済ソフトウェアについて
(Windows 95 モデル)

— お願い —

本書の情報および、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず 19ページの付録A、『ライセンス情報』および 27ページの付録B、『特記事項および商標』をお読みください。

原 典：

IBM Personal Computer
About Your Software
Windows 95, Applications,
and Support Software

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1998.11

©Copyright International Business Machines Corporation 1997. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1998

本書について	v
第1章 ソフトウェアの概説	1
導入済みソフトウェア	1
すぐに導入できるソフトウェア	3
第2章 始動	5
コンピューターの初めての始動	5
始動する前に必要なこと	5
Windows 95 セットアップ・プログラムの実行	6
コンピューターの終了方法	7
第3章 他のオペレーティング・システムの導入	9
第4章 Windows 95 の再導入	11
Windows 95 CD について	11
要件	11
再導入手順	13
CD-ROM セットアップ起動ディスクへの CD-ROM デバイス・ドライバの導入	14
第5章 サポート CD の使用方法	15
CD の機能	15
CD の始動	16
第6章 診断プログラムの使用方法	17
Enhanced Diagnostics	17
付録A. ライセンス情報	19
第1章 - 共通条項	19
第2章 - 各国固有の条項	22
付録B. 特記事項および商標	27
特記事項	27
商標	27

付録C. Windows 95 再導入時の詳細手順	29
A. Windows 95 のインストール	29
B. キーボードのプロパティ	33
C. USB サポート・ドライバーのインストール	34
D. Intel 82371xB INF ファイルの更新	34
E. ビデオのドライバーの導入	36
F. IBM 100/10 EtherJet PCI アダプター・ドライバーの導入	37
G. 同梱アプリケーションのインストール	40

今後参照するときのために、本書は他のマニュアルと一緒に保管しておいてください。

本書には、導入済みソフトウェアおよび本製品に付属しているその他のソフトウェアについての一般情報が記載されています。

本書は次のように編成されています。

- 第1章、『ソフトウェアの概説』には、コンピューターに付属のソフトウェアについての概説が記載されています。
- 第2章、『始動』には、コンピューターを使用して操作を開始し、ソフトウェア機能の一部を理解する上で役立つ情報が記載されています。
- 第3章、『他のオペレーティング・システムの導入』には、他のオペレーティング・システムやサポート・ソフトウェアの導入についての情報が記載されています。
- 第4章、『Windows 95 の再導入』には、回復のための Windows 95 の再導入についての情報が記載されています。
- 第5章、『サポート CD の使用方法』には、サポート CD で提供されるソフトウェアの導入または再導入についての情報が記載されています。
- 第6章、『診断プログラムの使用方法』には、本製品に付属の診断プログラム IBM Enhanced Diagnostic についての情報が記載されています。
- 付録A、『ライセンス情報』には、ソフトウェア・ライセンスについての情報が記載されています。
- 付録B、『特記事項および商標』には、特記事項と商標についての情報が記載されています。
- 付録C、『Windows 95 再導入時の詳細手順』には、Windows 95 の再導入手順がステップごとに詳細に記載されています。

本製品には、Microsoft Windows 95¹、アプリケーション・プログラム、診断ツール、デバイス・ドライバーなど、さまざまなソフトウェアが付属しています。これらのソフトウェアには、導入済みのもものと、すぐに導入できるものがあります。これらのソフトウェアは、本書の付録A に記載の「ライセンス情報」によって、ライセンスを受けています。

導入済みソフトウェア

Windows 95 以外に、下記のソフトウェアが導入済みです。

- 出荷時導入済みハードウェア用のデバイス・ドライバー

導入済みソフトウェアについての情報は、第2章、『始動』に記載されていません。

重要:

1. 導入済みソフトウェアのバックアップ・ディスクは、コンピューターには付属していません。ただし、サポート CD には IBM 導入済みプログラムとデバイス・ドライバーのほとんどが入っています。

また、Microsoft Windows 95 オペレーティング・システム (Microsoft 提供のもので、IBM による修正はありません) は、バックアップのために単独の CD で提供されます。この CD には、コンピューターに導入済みの他のソフトウェアは入っていません。オペレーティング・システムを再導入する必要がある場合は、*Microsoft Windows 95 CD* (および *CD-ROM セットアップ起動ディスク*) をサポート CD とともに使用してください。(Windows 95 オペレーティング・システムや、導入済みのソフトウェアのディスクは、IBM から入手することはできません。)

2. 本製品のハード・ディスクは、複数の論理区画 (FAT) に区分されています。C ドライブには、Windows 95 およびその他の導入済みソフトウェアが入っています。他の区画はフォーマット済みですが、ファイルは入っていません。他の区画で異なるファイル・システムを使用する場合は、Windows 95 を FAT 区画に残しておいてください。

¹ The Microsoft Certificate of Authenticity は、本製品上の Windows 95 ソフトウェアが、Microsoft 社から合法的にライセンスを受けていることを保証するものです。

3. できるだけ早うちに、以下のディスクを作成してください。
 - a. *IBM Enhanced Diagnostic* ディスク。この起動可能な診断ディスクを使用すれば、コンピューターに関する問題判別に役立ちます。(ディスクの作成手順については、第6章、『診断プログラムの使用方法』を参照してください。)
 - b. "重要" 項目の 1 (1ページ) に述べた *CD-ROM セットアップ起動ディスク* のバックアップ・コピー。Windows 95 を再導入する必要がある場合は、バックアップ・コピーを使用します。条件によっては、導入処理中に *CD-ROM セットアップ起動ディスク* のデータが破壊され、ディスクが使用できなくなることがあります。

すぐに導入できるソフトウェア

すぐに導入できるソフトウェアが、サポート CD に提供されています。この CD には、IBM によって導入済みのデバイス・ドライバーの他に、追加ソフトウェアも含まれています。必要に応じて、どのプログラムを導入するかを決めてください。ここでは、CD に含まれている追加ソフトウェアのいくつかについて説明します。

注:

1. サポート CD に実際に入っているソフトウェアは変更されることがあるため、以下のリストとは異なる場合があります。他のオペレーティング・システム (9ページにリストされています) 用の同様のいくつかのソフトウェアも CD に含まれています。この CD についての補足情報は、第5章に記載してあります。

CoSession 手元の PC から別の場所にあるもう一台の PC を、モデムまたは LAN を経由して、自由に操作できるようにする「リモート・コントロール機能」を提供するソフトウェアです。

IBM Global Network ダイアラー

このソフトウェアを使用すれば、IBM Global Network を通じてインターネットに接続することができます。

IBM Netfinity サービス・プログラム

ハードウェアおよびソフトウェアに関する詳細な情報の表示、Desktop Management Interface (DMI) 情報のブラウズ、アラートのセットアップ、各種システム資源のモニター、および資産機密保護の管理を行うためのソフトウェアです。本製品が Netfinity Manager の導入されているネットワークに接続されている場合には、Netfinity Manager は資産管理のために情報を収集し、本製品の動作をモニターすることができます。

Netscape Communicator

Netscape Communicator を使用して、貴社のイントラネットまたは WWW をナビゲートすることができます。

きます。Netscape Communicator は、電子メール、ニュース・グループ、および WWW の最新の機能のサポートを含む、ひとつのインターネット機能を提供します。

本章には、コンピューターを始動する上で役立つ情報が記載されています。ここでは、次のことを説明します。

- 最初にコンピューターを始動する前に何が必要で、始動の後に何が起こるか
- 本製品を安全に終了する方法。

コンピューターの初めての始動

初めて Windows 95 にアクセスする前に、Windows 95 のセットアップ手順を完了する必要があります。

始動する前に必要なこと

Windows 95 のセットアップ手順を始める前に、次のものを用意する必要があります。

- 本章より詳しい情報が必要な場合には、コンピューターに付属の Windows 95 の説明書。
- Microsoft Certificate of Authenticity (Windows 95 の説明書の表紙に添付されています) のプロダクト ID 番号。
- ネットワーク管理者からのネットワーク情報 (該当する場合)。
- プリンターをコンピューターに直接接続する場合には、プリンターのモデルおよびプリンターが使用するポート。

Windows 95 セットアップ・プログラムの実行

セットアップ・プログラムをまだ実行していない場合には、コンピューターの始動時に実行されます。このプログラムは、必要に応じて、情報の選択や入力を求めるプロンプトを表示します。下記の説明よりも詳細な情報が必要な場合には、Windows 95 の説明書を参照してください。

注:

1. セットアップ手順の途中で、Windows 95 のライセンス条項を受諾することを示すために、プロンプトに対して、Certificate of Authenticity のプロダクト ID 番号を入力する必要があります。Certificate of Authenticity は、Windows 95 の説明書の表紙に添付されています。
2. セットアップ手順を完了して、システムを再始動すると、Windows 95 のデスクトップが表示され、「Windows 95 へようこそ」というパネルがオープンします。「Windows 95 へようこそ」ウィンドウからは、以下のことを選択することができます。
 - 簡単な Windows 95 のチュートリアルでのレビュー
 - このリリースの Windows 95 での変更点の表示
 - オペレーティング・システムの使用についての情報の入手
 - Microsoft への Windows 95 ソフトウェアの登録（モデムが導入済みである場合）
3. ハード・ディスクは、複数の論理区画 (FAT) に区分されています。C ドライブには、Windows 95 およびその他の導入済みソフトウェアが入っています。他の区画はフォーマット済みですが、ファイルは入っていません。他の区画で異なるファイル・システムを使用する場合は、Windows 95 を FAT 区画に残しておいてください。
4. できるだけ早いうちに、「重要」項目の 3 (2ページ) で説明されている *IBM Enhanced Diagnostic* ディスケットと *CD-ROM セットアップ起動ディスク* のバックアップ・コピーを作成してください。

コンピューターの終了方法

保存していないデータを失ったり、プログラムに損傷を与えたりすることのないように、コンピューターの電源を切る前には、必ず、終了手順を実行してください。

コンピューターを終了するには、次の手順を実行します。

1. 作業中のデータを保存します。
2. オープンしているアプリケーションをすべてクローズします。
3. 「スタート」ボタンをクリックします。
4. 「**Windows** の終了」をクリックし、「電源を切れる状態にする」が選択されていることを確認し、「はい (Y)」をクリックします。

次にコンピューターの電源を入れたときに、Windows 95 は、最後にコンピューターを終了したときにオープンされていたウィンドウを復元します。

第3章 他のオペレーティング・システムの導入

以下のオペレーティング・システムを導入または再導入する場合は、ソフトウェアまたはデバイス・ドライバーが必要になる場合があります。ハードウェア固有のサポート・ソフトウェアは、サポート CD に収録されています。

- Microsoft Windows NT Workstation 4.0
- Microsoft Windows NT Workstation 3.51
- Microsoft Windows 98

いずれのオペレーティング・システムを導入する場合でも、事前に、必ず、最新のフィックス・パックなどを入手してください。これら入手するには、オペレーティング・システムの製造元に問い合わせるか、アクセスできれば製造元のウェブ・サイトをチェックしてください。

オペレーティング・システムを導入するには、そのオペレーティング・システムに付属の資料に記載されている手順と、フィックス・パックや CSD など (ある場合) に従ってください。その後、第5章、『サポート CD の使用方法』に記載されている手順に従って、サポート・ソフトウェアを導入します。

本製品に付属している *Microsoft Windows 95* CD から Windows 95 を再導入する手順は、第4章、『Windows 95 の再導入』に記載されています。

問題が発生して Windows 95 の再導入が必要になった場合は、本章の情報を活用してください。

Windows 95 CD について

重要

Microsoft Windows 95 CD-ROM に入っているソフトウェア ("回復プログラム") は、出荷時に Windows 95 が初期導入されていた IBM コンピューターに、Windows 95 を再導入するためにのみ使用するものです。

ハード・ディスクの障害などによって Windows 95 のファイルが損傷した場合には、コンピューターに付属の *Microsoft Windows 95 CD と CD-ROM セットアップ起動ディスク* を使用して、Windows 95 を再導入できます。

注: まだ作成していなければ、*CD-ROM セットアップ起動ディスク* のバックアップ・コピーを作成しオリジナル・ディスクットの損傷を防ぐためにバックアップ・コピーを使用してください。条件によっては、導入処理中に *CD-ROM セットアップ起動ディスク* のデータが破壊され、ディスクットが使用できなくなることがあります。

Microsoft Windows 95 CD から Windows 95 を再導入した場合、その内容はコンピューターの出荷時に導入済みの Windows 95 とは多少異なります。

Windows 95 を再導入したら、サポート CD を使用して、必要に応じてアプリケーションとデバイス・ドライバを導入してください。詳細については、第5章、『サポート CD の使用方法』、およびサポート CD にある「内容の説明」を参照してください。

要件

Windows 95 CD を使用してハード・ディスクに Windows 95 を再導入するには、以下のものがが必要です。

- CD-ROM ドライブ

- 始動ドライブになる、コンピューターのディスク・ドライブ A
- *Microsoft Windows 95 CD*
- *CD-ROM セットアップ起動ディスク* のバックアップ・コピー (11ページの注を参照)
- Windows 95 起動ディスク (ハードディスクの区画の設定や、ハードディスクに保存したいデータがある時のみ)

注: Windows 95 起動ディスクは、Windows 95 のデスクトップから「マイコンピュータ」、「アプリケーションの追加と削除」、「起動ディスク」タブ、「ディスクの作成」の順に選択して、作成します。

また、Windows 95 の導入の開始時に、ご使用の CD-ROM ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーが *CD-ROM セットアップ起動ディスク* に組み込まれていることが必要です。

標準で IBM 内蔵 IDE CD-ROM ドライブ用のドライバーが組み込まれていますが、これ以外の CD-ROM ドライブを使用する場合は、ドライバーを別に組込んだディスクを作成してください。作成方法については、14ページの『CD-ROM セットアップ起動ディスクへの CD-ROM デバイス・ドライバーの導入』を参照してください。

再導入手順

Windows 95 を再導入するには、以下の手順を実行します。より詳細な手順が必要な場合は、付録C、『Windows 95 再導入時の詳細手順』を参照してください。

1. 保存したいデータがハードディスクにある場合は「Windows 95 起動ディスク」を A ドライブに入れて、Windows 95 を起動後、ディスク等々にデータを保存してください。また、ハードディスクの区画設定を行いたい場合は、「Windows 95 起動ディスク」で起動後、FDISK コマンドを使用して行ってください。区画の設定を行った後は、各区画を FORMAT コマンドでフォーマットしてください。
2. ドライブ A にセットアップ起動ディスクを挿入します。
3. コンピューターの電源を入れるか、コンピューターを再始動します。導入プログラムが自動的に始動します。
4. コンピューターのメッセージに従って作業を進めてください。
5. 作業の途中で「ディスク 'Setup Boot Disk' が必要です。」というメッセージが出てきたら、「セットアップ起動ディスク」を A ドライブに入れて「OK」のボタンを押してください。その後「Setup Boot Disk 上のファイル IBMIDECD.SYS が見つかりませんでした。」というメッセージが現れたら、ファイルのコピー元を「A:¥」にして「OK」ボタンを押してください。
6. コンピューターのメッセージに従って作業を進めてください。
7. 「Windows 95 へようこそ」のパネルが出てきたら Windows 95 の導入は終了です。
8. 次に USB のドライバーをインストールします。Windows 95 CD-ROM の ¥OTHER¥USB ディレクトリーにある USBSUPP プログラムを起動してください。
9. この後はサポート CD を使用してデバイス・ドライバーの導入を行ってください。この時に、まず最初に、「Intel 8237xB INF Update Installer」を導入してから他のデバイス・ドライバーの導入を行ってください。

CD-ROM セットアップ起動ディスクへの CD-ROM デバイス・ドライバーの導入

IBM 内蔵 IDE CD-ROM 以外の CD-ROM ドライブを使用する場合のみ、この作業が必要になります。

以下の手順では、CD-ROM デバイス・ドライバー（ご使用になる CD-ROM ドライブ用のデバイス・ドライバー）を *CD-ROM セットアップ起動ディスク* に追加する方法を説明します。ご使用の CD-ROM ドライブに複数のデバイス・ドライバーが必要な場合は、この手順を使用する必要があります。

CD-ROM デバイス・ドライバーを *CD-ROM セットアップ起動ディスク* に追加するには、以下の手順を実行します。

1. *CD-ROM セットアップ起動ディスク* のルート・ディレクトリーに、CD-ROM デバイス・ドライバー（1 つまたは複数）をコピーします。
2. *CD-ROM セットアップ起動ディスク* の CONFIG.SYS ファイルを編集して、9 行目にある次のような行を見付けます。

```
DEVICE=IBMIDECD.SYS /D:IBMCD100 /L:JP
```

9 行目の *IBMIDECD.SYS* を、使用する CD-ROM デバイス・ドライバーの名前に置き換えます。

その行の他の部分を変更しないでください。ご使用の CD-ROM ドライブに複数のデバイス・ドライバーが必要な場合は、それぞれの追加デバイス・ドライバーについて 1 行ずつ追加する必要があります。

3. *CD-ROM セットアップ起動ディスク* はドライブ A に入れたままにして、コンピューターを再始動します。Windows 95 セットアップ・プログラムが自動的に始動します。

サポート CD からデバイス・ドライバーやその他のソフトウェアを導入または再導入する場合には、この章の情報を使用してください。

CD の機能

サポート CD には、各種のオペレーティング・システム環境のためのデバイス・ドライバー、およびその他のサポート・ソフトウェアが含まれています。

重要

サポート CD には、オペレーティング・システムは含まれていません。この CD は、お使いのオペレーティング・システムがコンピューターにすでに導入されていないと、使用できません。

この CD を使用して、次のことができます。

- CD から一部のアプリケーションの直接導入。
- 本製品またはネットワーク上の PC のハードディスクへ、サポート CD のイメージを転送し、そのイメージからサポート CD を使用すること。
- CD から導入できないソフトウェアのディスクットを作成して、ディスクットから導入する。

CD にあるユーティリティー・プログラムには、使いやすいグラフィカル・インターフェースと、ほとんどの自動導入手順が備わっています。またユーティリティー・プログラムには、ヘルプ・システムと、ユーティリティー・プログラムの機能、CD から導入できるソフトウェア製品、およびそれらの製品がサポートする操作環境について説明している総合的な説明も用意されています。

サポート CD に入っているソフトウェアは、本書の付録A、『ライセンス情報』およびサポート CD 中の「内容の説明」に含まれている「ライセンス情報」の条件でライセンスを受けています。

CD の始動

サポート CD のソフトウェアを導入したり、関連するデバイス・ドライバやプログラムについての概要を表示したりするには、以下の手順を実行します。

1. CD-ROM ドライブに サポート CD を挿入します。
2. お使いのオペレーティング・システムに応じて、下記の手順で CD を開始します。
 - Windows 95、Windows 98 または Windows NT 4.0 の場合：
タスク・バーにある「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックしてから、次のように入力します。

```
e:¥ibmsetup
```

(ここで、e: は、CD-ROM ドライブ名です。) **Enter** を押します。

- Windows NT 3.51 の場合：Windows のプログラム・マネージャーのパネルから、メニュー・バーの「ファイル」をクリックし、「実行」をクリックしてから、次のように入力します。

```
e:¥ibmsetup
```

(ここで、e: は、CD-ROM ドライブ名です。) **Enter** を押します。

3. メインメニューが表示されたら、希望のオプションを選択して、その後は画面の指示に従います。

プログラムの導入が終わったら、スタート・メニューのプログラム選択項目からプログラムにアクセスできます。ほとんどのプログラムでは、サポート資料がオンライン・ヘルプに組み込まれています。また、オンライン資料が提供されているものもあります。

IBM 提供の診断プログラムを実行すれば、ハードウェアの問題と一部のソフトウェアの問題を診断できます。コンピューターについての情報を提供するユーティリティー・プログラムもいくつか含まれています。

注: 問題判別表および自己診断テスト (POST) のエラー・メッセージや提案される処置など、診断に関する追加情報は、ユーザーズ・ガイドに記載されています。

Enhanced Diagnostics

IBM Enhanced Diagnostic のディスクット・イメージが、サポート CD で提供されています。この診断プログラムは、オペレーティング・システムとは関係なく動作します。診断を実行するためのユーザー・インターフェースとユーティリティーは、Watergate Software 社の PC-Doctor によって提供されています。

このプログラムを使用して、本製品のハードウェア (および一部のソフトウェア) 構成要素をテストできます。一般にこのテスト方法は、他の方法が使用できない場合、またはハードウェアに関連すると思われる問題がうまく特定できなかった場合に使用します。

ここでは、以下のための手順を説明します。

- サポート CD から IBM Enhanced Diagnostic ディスクットを作成する方法。
- ディスクットからプログラムを始動する方法。

IBM Enhanced Diagnostic ディスクットを作成するには、次の手順を実行します。

1. サポート CD を始動します。(16ページの『CD の始動』を参照してください)
2. 「ディスクット・ファクトリーの実行」を選択します。
3. 「IBM Enhanced Diagnostic」を選択し、「作成」ボタンをクリックします。
4. プロンプトが表示されたら「はい」をクリックします。

5. ディスケット・ドライブにフォーマット済の 2MB ディスケットを挿入して、**Enter** を押します。
6. 処理が完了したら、ディスクを取り出してラベルを貼ります。

Enhanced Diagnostic プログラムを始動するには、次の手順を実行します。

1. Windows 95 を終了して、コンピューターの電源を切ります。(手順については、7ページの『コンピューターの終了方法』を参照してください。)
2. 接続されている装置の電源を切ります。
3. *IBM Enhanced Diagnostic* ディスケットをドライブ A に挿入します。
4. 接続されているすべての装置の電源を入れてから、コンピューターの電源を入れます。
5. 画面の指示に従います。ヘルプを表示するには、**F1** を押します。

IBM プログラムのご使用条件 (保証適用外プログラム用)

第1章 - 共通条項

「プログラム」を使用する前にこの使用条件をお読みください。IBMは、お客様がこの使用条件に同意された場合にのみ「プログラム」の使用を許諾します。お客様が「プログラム」を使用されると、以下の条件に同意したものとみなします。この使用条件にご同意いただけない場合は、お客様は、すみやかに「プログラム」の調達元 (IBM または IBM 認定再販売) に未使用の「プログラム」および関連資料すべてを返却することにより、これと引き換えに支払済料金の返金を受けることができます。

「プログラム」は、インターナショナル・ビジネス・マシーンス・コーポレーション、その直接もしくは間接の子会社 (以下あわせて「IBM」といいます。) または「プログラム」の提供者が著作権を持ち、使用許諾されるものであって、売買の対象とされるものではありません。

「プログラム」とは、プログラムの原本およびその複製物 (部分的複製物および他のプログラムに結合された複製物を含みます。) を意味します。「プログラム」には、機械で読み取りうる形の命令、その構成物、データ、視聴覚コンテンツ (例えば、イメージ、テキスト、録音または写真等) およびその他の関連するライセンス資料が含まれます。

この使用条件は、第1章の共通条項と第2章の各国固有の条項により構成され本「プログラム」に関する完全、唯一の合意文書であり、事前の両当事者の口頭または書面による通知等のすべてに代わるものです。第2章に、第1章の条件に対する追加条件または変更条件が記載されている場合があります。

1. 使用权

「プログラム」の使用

IBM は、お客様に対して「プログラム」の非独占的な使用权を許諾します。

お客様は、1) 「プログラム」を使用許諾された範囲で使用することができ、2) お客様が取得した使用許諾範囲において「プログラム」の複製物を作成および導入することができます。ただし、「プログラム」の複製物には、全部複製か部分複製かを問わず、お客様は「プログラム」に表示されているものと同一の著作権表示を必ず行うものとします。

お客様が、この「プログラム」を、すでに取得済みの「プログラム」に対するアップグレードとして取得した場合、その取得済みの「プログラム」に対する使用権は終了します。

お客様は、お客様が「プログラム」を使用することを認めた人に対し、この使用条件に定める義務を守る適切な措置を講じていただきます。

お客様は、1) この使用条件に明記されている場合を除き、「プログラム」を使用、複製、結合、配布もしくは送信すること、2) 法律の強行規定のある場合を除き、「プログラム」を逆コンパイル、逆アSEMBルもしくは翻案すること、または 3) 「プログラム」を再使用許諾、賃貸もしくは貸与することはできません。

「プログラム」に対する権利および義務の移転

お客様は、「ライセンス証書」に規定された「プログラム」を使用する権利および義務を第三者に移転することができます。この場合、お客様は、「ライセンス証書」、この「IBMプログラムのご使用条件」およびその他のすべての関連資料を第三者に移転しなければなりません。「プログラム」を使用する権利および義務の移転に伴い、「ライセンス証書」に規定されたお客様の使用権は終了します。

2. ライセンス証書

「ライセンス証書」は、「プログラム」に対する将来における「プログラム」のアップグレード（発表された場合）または販売促進用の特別な措置（提供された場合）等の資格の確認およびこの「プログラム」に対する使用権および使用許諾範囲の証明として、お客様に保管していただくものとなります。

3. 料金、支払いおよび税金

IBM は、「プログラム」の料金を定めるために使用許諾範囲を規定し、これを「ライセンス証書」に記載します。「プログラム」の料金は、使用許諾範囲に基づくものとなります。お客様が使用許諾範囲を拡大する場合、IBM または IBM 認定再販売者に通知し、所定の料金を支払うものとなります。ただし、支払済みの料金または支払期日の到来している料金は返還されません。

また、この使用条件のもとで提供された「プログラム」に対し、税金等（ただし、IBM に対する法人税を除きます。）が課せられるときは、IBM がその種類を明示してお客様に請求したときに限り、お客様の負担となります。

4. 保証の不提供

強行法規で除外を禁止されている場合を除き、IBM は、「プログラム」を特定物として現存するままの状態を提供し、「プログラム」および「プログラム」に対する技術的サポートがある場合にはその技術的サポートについて、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。また、IBM は、「プログラム」が 20 世紀と 21 世紀にわたる日付データの処理、引き渡し、または受け取りを正しく行うことについても保証しません。この規定は、IBM の従契約者、「プログラム」の提供者または開発者（以下あわせて「提供者」といいます。）に対しても適用されます。なお、IBM 以外の「プログラム」については、その製造者、提供者または出版者により保証が提供される場合があります。

5. 責任の免責

IBM および「提供者」は、逸失利益を含むいかなる直接または間接の損害についても責任を負いません。国または地域によっては、法律の強行規定により、上記の責任の制限が適用されない場合があります。

6. その他

この使用契約は、消費者保護法規によるお客様の権利を変更するものではありません。

お客様がこの使用条件に違反した場合には、IBM はこの使用契約を解約することができます。この場合、お客様の「プログラム」に対する使用権も消滅し、お客様は「プログラム」およびすべての複製物をすみやかに破毀または使用不可能にするものとします。

お客様は、関連する輸出入関連法規を遵守するものとします。

この使用契約にもとづく請求権は、請求のいかんにかかわらずその原因が発生した日から 2 年を経過したときに、時効により消滅するものとします。

いずれの当事者も自己の責めに帰すことのできない事由から生じた損害については責任を負わないものとします。

IBM は、別に規定した場合を除き、「プログラム」に対してプログラム・サービスまたはその他の技術的なサポートを提供いたしません。

この使用契約には、お客様が「プログラム」を取得した国の法律が適用されます。ただし、1) オーストラリアで取得した場合には取得した州もしくは準州の法律が適用、2) アルバニア、アルメニア、ベラルーシ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、チェコ共和国、ユーゴスラビア連邦共和国、グルジア、ハンガリー、カザフスタン、キル

ギス共和国、マケドニア・旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、ポーランド、ルーマニア、ロシア、スロバキア共和国、スロベニアもしくはウクライナで取得された場合にはオーストリアの法律が適用、3) グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国で取得された場合にはイングランド法が適用されイングランド裁判所を唯一の管轄裁判所とし、4) カナダで取得された場合にはオンタリオ州の法律が適用、または 6) アメリカ合衆国、プエルトリコもしくは中華人民共和国で取得された場合にはニューヨーク州の法律が適用されます。

IBM プログラムのご使用条件 (保証適用外プログラム用)

第 2 章 - 各国固有の条項

AUSTRALIA:

No Warranty (Section 4):

The following paragraph is added to this Section:

Although IBM specifies that there are no warranties, you may have certain rights under the Trade Practices Act 1974 or other legislation and are only limited to the extent permitted by the applicable legislation.

Limitation of Liability (Section 3):

The following paragraph is added to this Section:

Where IBM is in breach of a condition or warranty implied by the Trade Practices Act 1974, IBM's liability is limited to the repair or replacement of the goods, or the supply of equivalent goods. Where that condition or warranty relates to right to sell, quiet possession or clear title, or the goods are of a kind ordinarily acquired for personal, domestic or household use or consumption, then none of the limitations in this paragraph apply.

GERMANY:

No Warranty (Section 4):

The following paragraphs are added to this Section:

The minimum warranty period for Programs is six months.

In case a Program is delivered without Specifications, we will only warrant that the Program information correctly describes the Program and that the Program can be used according to the Program information. You have to check the usability according to the Program information within the "money-back guaranty" period.

Limitation of Liability (Section 5):

The following paragraph is added to this Section:

The limitations and exclusions specified in the Agreement will not apply to damages caused by IBM with fraud or gross negligence, and for express warranty.

INDIA:

General (Section 6):

The following replaces the fourth paragraph of this Section:

If no suit or other legal action is brought, within two years after the cause of action arose, in respect of any claim that either party may have against the other, the rights of the concerned party in respect of such claim will be forfeited and the other party will stand released from its obligations in respect of such claim.

IRELAND:

No Warranty (Section 4):

The following paragraph is added to this Section:

Except as expressly provided in these terms and conditions, all statutory conditions, including all warranties implied, but without prejudice to the generality of the foregoing, all warranties implied by the Sale of Goods Act 1893 or the Sale of Goods and Supply of Services Act 1980 are hereby excluded.

ITALY:

Limitation of Liability (Section 5):

This Section is replaced by the following:

Unless otherwise provided by mandatory law, IBM is not liable for any damages which might arise.

NEW ZEALAND:

No Warranty (Section 4):

The following paragraph is added to this Section:

Although IBM specifies that there are no warranties, you may have certain rights under the Consumer Guarantees Act 1993 or other legislation which cannot be excluded or limited. The Consumer Guarantees Act 1993 will not apply in respect of any goods or services which IBM provides, if you require the goods and services for the purposes of a business as defined in that Act.

Limitation of Liability (Section 5):

The following paragraph is added to this Section:

Where Programs are not acquired for the purposes of a business as defined in the Consumer Guarantees Act 1993, the limitations in this Section are subject to the limitations in that Act.

PEOPLE'S REPUBLIC OF CHINA:

Charges (Section 3):

The following paragraph is added to the Section:

All banking charges incurred in the People's Republic of China will be borne by you and those incurred outside the People's Republic of China will be borne by IBM.

UNITED KINGDOM:

Limitation of Liability (Section 5):

The following paragraph is added to this Section at the end of the first paragraph:

The limitation of liability will not apply to any breach of IBM's obligations implied by Section 12 of the Sales of Goods Act 1979 or Section 2 of the Supply of Goods and Services Act 1982.

この付録は、IBM 製品の可用性、特許、出願中の特許、および商標の情報の法的な特記事項を記載しています。

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

商標

以下の用語は米国およびその他の国における IBM Corp. の商標です。

Global Network	IBM
IBM Global Network	NetFinity

Microsoft, Windows, および Windows NT は Microsoft Corporation の商標あるいは、登録商標です。

その他の会社名、製品名およびサービス名は、他社の商標またはサービス・マークです。

この付録は、Windows 95 を再導入する場合の手順をステップごとに細分化して詳細に記載しています。尚、ネットワークは標準装備（モデルによる）のイーサネットを使用し、ハードディスクはフォーマット済の場合について記載しています。

A. Windows 95 のインストール

必要なもの：

- Microsoft Windows 95 CD-ROM セットアップ起動ディスク
（以下、セットアップ起動ディスクと呼びます）
- Microsoft Windows 95 CD-ROM
- 未使用ディスケット 1 枚（セットアップ起動ディスクのバックアップ用）
- 未使用ディスケット 1 枚（起動ディスク用）

重要:

既にハードディスクに必要なデータが入っている場合は、まず、そのファイルをディスケット等に保存します。

注: CD-ROM ドライブに CD-ROM をセットした直後は、ドライブがメディアを認識するまで数秒間待ってから、次の操作を行ってください。

ステップ	操作内容
001.	あらかじめ、同梱されている“セットアップ 起動ディスク”のバックアップを取ります。方法としては“MS-DOS プロンプト”より Diskcopy を使って行います。
002.	セットアップ 起動ディスクのバックアップ・ディスクを A ドライブに入れ、Power ON します。
003.	「Windows 95のインストールを行います。C ドライブの中身をフォーマットする必要がありますので、 (中略) 続けるにはどれかキーを押してください...」 と表示されます。メッセージに従い、いずれかのキーを押します。

ステップ	操作内容
004.	<p>「同梱されてきた Windows95 の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。続けるにはどれかキーを押してください...」</p> <p>と表示されます。メッセージに従い、Windows 95 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、いずれかのキーを押します。</p>
005.	<p>「ドライブ C をフォーマットします。</p> <p>(中略) 続けるにはどれかキーを押してください...」</p> <p>と表示されます。メッセージに従い、いずれかのキーを押します。</p>
006.	<p>「注意！ ドライブ C: のハードディスクのデータはすべてなくなりま す。フォーマットしますか (Y/N)?」</p> <p>と表示されます。メッセージに従い、「Y」を入力し、Enter を押し ます。</p>
007.	<p>フォーマットが完了すると、以下のメッセージが表示されます。</p> <p>「ボリュームラベルを入力してください。半角で 11 文字、全角で 5 文 字以内。必要なければ、Enter キーを押してください。」</p> <p>ボリュームラベルを入力し、Enter を押します。</p>
008.	<p>「セットアップへようこそ。</p> <p>セットアップ プログラムは、コンピュータで Windows 95 を実行する ための準備を行います。</p> <p>(略)</p> <p>セットアップを続けるには、Enter キーを押してください。」</p> <p>と表示されます。メッセージに従い、Enter を押します。</p>
009.	<p>「Windows をインストールする準備をしています。</p> <p>準備をしています。しばらくお待ちください....</p> <p>システムのチェックを行います。</p> <p>Enter キーを押すと続行します。Escキーを押すと、セットアップを中止 します。」</p> <p>と表示されます。メッセージに従い、Enter を押します。</p>
010.	<p>Microsoft Scandisk の画面が表示され、Scandisk が実行されますので 終了したら、X キーを押します。</p>

ステップ	操作内容
011.	ソフトウェア使用許諾契約の画面が表示されますので、 Page Down キーを使用して読み、同意する場合は、「はい (Y)」をクリックします。
012.	Windows 95 セットアップ ウィザードが表示されます。 「次へ」をクリックします。
013.	“ディレクトリの選択” の画面が表示されます。 ここでは、“C:\WINDOWS” を選択し、「次へ」をクリックします。
014.	次に“セットアップ方法” を選択します。今回は“標準”を選び、「次へ」をクリックします。
015.	次に“Certificate of Authenticity” を入力します。これは、同梱されているマニュアル「ファーストステップガイド Microsoft Windows 95」の表紙に書かれています。入力後、「次へ」をクリックします。
016.	“名前” と “組織名” を入力し、「次へ」をクリックします。
017.	“コンピュータの調査” の画面が表示されます。 本製品では、モデルによりイーサネットやオーディオ機構が搭載されている場合がありますが、専用のドライバーは後述の手順で導入するため、ここでは、ハードウェアの調査をしない方法を選択します。従って、チェックボックスには、何もチェックせず、「次へ」をクリックします。
018.	“Windows ファイルの選択” の画面が表示されます。 ここでは、“標準的なオプションをインストールする (推奨) (I)” を選択し、「次へ」をクリックします。
019.	“起動ディスク” の画面が表示されます。 ここでは、“はい (通常はこちらを選んでください)(Y)” を選択し、「次へ」をクリックします。
020.	“コピー開始” となります。「次へ」をクリックします。
021.	“ディスクの挿入” となります。ディスクのラベルに “Windows 95 起動ディスク” と記入し、A ドライブから “セットアップ起動ディスク” のバックアップ・ディスクを取り出し、代わりに未使用のディスクを挿入します。そして、「OK」をクリックします。
022.	“Windows 95 起動ディスク” が完成したら、ディスクをAドライブから取り出し、「OK」をクリックします。

ステップ	操作内容
023.	<p>しばらくすると、「ディスクの挿入</p> <p>ディスク “Setup Boot Disk“ が必要です。このディスクはコンピュータの製造元から配布されています。[OK] を押すと続行します。」</p> <p>と表示されます。メッセージに従い、セットアップ起動ディスクのバックアップ・ディスクを A ドライブに挿入し、「OK」をクリックします。</p>
024.	<p>「Setup Boot Disk 上のファイル IBMIDECD.SYS が見つかりませんでした。</p> <p>Setup Boot Disk を選択したドライブに入れて、[OK] を押しください。」</p> <p>と表示されます。この場合は、ファイルのコピー元を「A:¥」にして「OK」をクリックします。</p>
025.	<p>“コピー完了“ の画面が表示されます。</p> <p>画面に従い、A ドライブから「セットアップ起動ディスクのバックアップ・ディスク」を、また CD-ROM ドライブ Windows 95 CD-ROM を取り出し、「完了」をクリックします。</p>
026.	<p>システムが再起動され、「日付と時刻のプロパティ」の画面が表示されます。日付、時刻、タイムゾーンが正しくない場合は正しい値を入力し、「閉じる」をクリックします。</p>
027.	<p>次に“プリンタウィザード“ が表示されます。</p> <p>プリンターを接続している場合は、「次へ」をクリックし、指示に従ってプリンターの設定を進めます。接続しない場合は、「キャンセル」をクリックします。</p>
028.	<p>プリンターウィザードにてプリンターの設定が完了すると、</p> <p>「システムの設定を完了しました。</p> <p>新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動してください。[OK] を押すと、再起動します。」</p> <p>と表示されるので、「OK」をクリックします。</p>
029.	<p>“Windows 95 へようこそ“ のウィンドウが表示されたら、Windows 95 本体の導入は完了です。</p> <p>「閉じる」をクリックします。</p>

B. キーボードのプロパティ

必要なもの： Microsoft Windows 95 CD-ROM

ステップ	操作内容
030.	次にキーボードのプロパティを確認します。
031.	「スタート」->「設定(S)」とマウスで選択し、「コントロール・パネル(C)」をクリックします。
032.	「キーボード」のアイコンをダブルクリックします。
033.	"情報"のタブをクリックします。
034.	キーボードの種類に“101 英語キーボード“が表示されている場合、「変更(C)」をクリックします。
035.	“デバイスの選択“の画面が表示されます。「すべてのデバイスを表示(A)」を選択します。
036.	モデルの中から、「106 日本語(A01) キーボード (Ctrl+英数)」を選択し、「OK」をクリックします。
037.	画面に“ディスクの挿入“のウィンドウが表示されるので、CD-ROMドライブに Windows 95 CD-ROM を挿入し、「OK」をクリックします。
038.	キーボードの変更が完了すると、「閉じる」をクリックします。
039.	「再起動しますか？」と表示されるので、「はい(Y)」をクリックし、再起動します。
040.	再起動後、「Windows 95 へようこそ」のウィンドウが表示されるので、左下の“Windows 95 を次に起動するときも、このダイアログを表示する(S)“のチェックをはずした後、このウィンドウを閉じます。また、引き続き、コントロール・パネルもクローズします。

C. USB サポート・ドライバーのインストール

必要なもの：Microsoft Windows 95 CD-ROM

ステップ	操作内容
041.	Mircosoft Windows 95 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。(前述のステップでキーボードの種類を変更した場合は、既に、CD-ROM が挿入されています。)
042.	「スタート」->「ファイル名を指定して実行(R)」をクリックします。
043.	名前に e:\other\usb\usbsupp と入力し、「OK」をクリックします。 (ただし、e: は CD-ROM のドライブ名です。)
044.	“Microsoft USB Supplement (QFE)” のウィンドウが表示されます。「はい(Y)」をクリックします。
045.	ソフトウェア使用許諾契約の画面が表示されるので、 Page Down キーを使用して読み、同意する場合は、「はい(Y)」をクリックします。
046.	USB サポート・ドライバーのインストールが完了後、CD-ROM ドライブから、Windows 95 CD-ROM を取り出し、「OK」をクリックします。システムが再起動されます。

D. Intel 82371xB INF ファイルの更新

必要なもの：サポート CD

ステップ	操作内容
047.	「スタート」->「ファイル名を指定して実行(R)」をクリックします。
048.	CD-ROM ドライブにサポート CD を挿入します。
049.	e:\ibmsetup と入力し、OK をクリックします。 (ただし、e: は CD-ROM のドライブ名です。)
050.	「アプリケーションとデバイス・ドライバーの導入」のアイコンをクリックします。
051.	「Intel 82371xB INF Update Installer」を選択し、「追加」のアイコンをクリックします。

ステップ	操作内容
052.	「導入」のアイコンをクリックします。
053.	「このソフトウェアは自動導入できません。 次のいずれかの方法で、導入してください。 (中略)」 と表示されます。 ここではサポート CD から直接導入する場合を選択し「OK」ボタンをクリックします。
054.	表示された Readme に目を通し、このメモ帳をクローズします。
055.	「メニューに戻る」をクリックし、「終了」をクリックします。
056.	「スタート」->「ファイル名を指定して実行(R)」をクリックします。
057.	名前に e:\win95¥82371xb¥setup と入力し、「OK」をクリックします。 (ただし、e: は CD-ROM のドライブ名です。)
058.	“Welcome“ の画面が表示されたら、「Next」をクリックします。
059.	“Software License Agreement“ が表示されます。同意する場合は、「Yes」をクリックします。
060.	“Intel 82371xB Update Installer“ 画面が表示されるので、「Next」をクリックします。
061.	導入が終了したら、「OK」をクリックします。
062.	再起動され、システム設定の変更が終了すると、再び、再起動となります。 「はい(Y)」をクリックしてください。

E. ビデオのドライバーの導入

必要なもの： サポート CD

ステップ	操作内容
063.	画面左下の「スタート」->「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。
064.	CD-ROM ドライブに、サポート CD を挿入します。
065.	e:\ibmsetup と入力し、「OK」をクリックします。 (ただし、e: は CD-ROM のドライブ名です。)
066.	「アプリケーションとデバイス・ドライバーの導入」ボタンをクリックします。
067.	「S3 Trio 3D Graphics デバイス・ドライバー for Windows 95/98」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。
068.	「導入」ボタンをクリックします。
069.	ここではサポート CD から直接導入する場合を選択し「OK」ボタンをクリックします。メモ帳が開き、注意事項に目を通し、クローズします。
070.	「スタート」->「設定 (S)」->「コントロール・パネル (C)」とクリックします。
071.	「画面」アイコンをダブル・クリックします。「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
072.	「ディスプレイの詳細」タブをクリックします。
073.	「詳細プロパティ」ボタンをクリックします。
074.	「ディスプレイの詳細プロパティ」ダイアログが表示されます。「変更」ボタンをクリックします。
075.	「デバイスの選択」ダイアログが表示されます。「ディスク使用」ボタンをクリックします。

ステップ	操作内容
076.	<p>「フロッピーディスクからインストール」ウィンドウが表示されます。 「配布ファイルのコピー元：」に次のように入力して、「OK」をクリックします。</p> <p style="text-align: center;">e:¥win95¥stri3w95</p> <p>ただし、e: は CD-ROM のドライブ名です。</p>
077.	“S3 Inc. Trio 3D” を選択し、「OK」をクリックします。
078.	「閉じる」をクリックします。
079.	<p>「画面のプロパティ」ダイアログ・ボックスが開きます。 ここではまだ希望する色数、画面解像度は設定せず、「閉じる」ボタンをクリックします。</p>
080.	「再起動しますか？」と表示されるので、「はい (Y)」をクリックします。
081	<p>再起動後、「コントロール・パネル」の中の「画面」アイコンを使用して、ご希望の色数、画面解像度を設定してください。</p> <p>ディスプレイの種類が指定されていない、というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、ここでディスプレイを指定します。</p>

F. IBM 100/10 EtherJet PCI アダプター・ドライバーの導入

必要なもの：

- サポート CD
- 未使用のディスク 2 枚 (IBM 100/10 EtherJet PCI アダプター・ドライバー用)

ステップ	操作内容
082.	「スタート」-> 「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。
083.	CD-ROM ドライブにサポート CD を挿入します。(Intel 82371xB INF ファイルをこの直前に更新している場合は、すでに挿入されています。)

ステップ	操作内容
084.	e:\ibmsetup と入力し、「OK」をクリックします。 (ただし、e: は CD-ROM のドライブ名です。)
085.	「アプリケーションとデバイス・ドライバーの導入」のボタンをクリックします。
086.	「IBM 100/10 EtherJet PCI アダプター・ドライバー」を選択し、「追加」のボタンをクリックします。
087.	「導入」のボタンをクリックします。
088.	ディスクット・ファクトリーを使用してディスクットを作成します。 「はい」をクリックします。
089.	未使用のディスクットを 2 枚用意し、「はい」をクリックします。
090.	1 枚目のディスクットを A ドライブに入れ、「OK」をクリックします。
091.	「はい」をクリックします。
092.	書き込みが終了したら、ドライブからディスクットを取り出し、指定されたラベルを付け、「OK」をクリックします。
093.	2 枚目のディスクットを入れ、「OK」をクリックし、上記 091、092 のステップを繰り返します。
094.	ディスクットの作成が終了しました。「OK」をクリックします。
095.	「スタート」->「設定 (S)」->「コントロール・パネル (C)」とクリックします。
096.	「システム」アイコンをダブル・クリックします。
097.	「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイス マネージャ」タブをクリックします。
098.	「その他のデバイス」の左にある“+”をクリックします。
099.	表示された「PCI Ethernet Controller」を選択します。
100.	「プロパティ」ボタンをクリックします。
101.	「ドライバ」タブをクリックします。
102.	「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

ステップ	操作内容
103.	「デバイス・ドライバー・ウィザード」が開きますので、先ほど作成したイーサネット・ドライバー・ディスクットの1枚目をAドライブに挿入し、「次へ」をクリックします。
104.	「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。 IBM 10/100 EtherJet PCI Adapter このドライバを使用する場合は、[完了]を押してください。」 と表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。
105.	「'Configuration and Drivers Diskette' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] を押してください。」 と表示されたら、「OK」をクリックします。
106.	ファイルが見つからない、というメッセージが表示されたら、ファイルのコピー元に次のように入力して「OK」をクリックします。 a:¥
107.	コンピューター名とワークグループ名が必要というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
108.	コンピューター名、ワークグループ名等を設定し、「閉じる」をクリックします。
109.	Windows 95 CD-ROM を要求するメッセージが表示されたら、Windows 95 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、「OK」をクリックします。
110.	ファイルが見つからないというメッセージが表示されたら、ファイルのコピー元に次のように入力して「OK」をクリックします。 e:¥win95 (ただし、e: は CD-ROM のドライブ名です。)
111.	「このデバイスを安全に削除できるかどうか判定できません。 (中略) どの方法を使いますか？」 と表示されたら、アプリケーションがすべて終了されていることを確認してから、「テストする」ボタンをクリックします。
112.	「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、Aディスクからディスクットを取り出してから、「はい (Y)」をクリックし、再起動します。

G. 同梱アプリケーションのインストール

必要なもの： サポート CD

以下、必要に応じて、システムに同梱されているアプリケーションの導入をサポート CD を使って行います。

ステップ	操作内容
113.	画面左下の「スタート」->「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。
114.	CD-ROM ドライブにサポート CD を挿入します。
115.	e:\ibmsetup と入力し、 Enter を押します。 (ただし、e: は CD-ROM のドライブ名です。)
116.	「アプリケーションとデバイス・ドライバーの導入」のアイコンをクリックします。
117.	導入するアプリケーションを選び、「追加」のアイコンをクリックします。
118.	「導入」のアイコンをクリックします。後は、画面の指示に従ってください。

さらにシステムに応じて必要なデバイス・ドライバーはサポート CD から直接、あるいはディスクット・ファクトリーでドライバー・ディスクットを作成してからインストールしてください。



Printed in Japan

November 1998

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12



SA88-6633-00